

(様式1-表)

## 令和6年度 特色ある学校づくり推進事業 計画書

学校番号	7	豊田市立 美山小 学校	代表	佐々木 博
------	---	-------------	----	-------

※分野【a：国際交流・国際理解、b：地域連携、c：自然体験、d：環境教育、e：学力向上、f：交流体験、g：福祉・ボランティア、h：伝統文化、i：その他（ ）】から選ぶ。

テーマ	We Love Miyama, 美山を心の故郷に サブテーマ ～地域とつながり、地域に学び、地域を愛する子どもの育成をめざして～	分野	b	地域連携
学校づくりの視点（ねらい）	地域の人々と交流し（地域の人材から学び）、地域の中で活動し（地域の教材を学び）、地域への深い愛着心とともに地域を大切にする心を育てたい。それが、この地域を「心の故郷」ととらえることにつながっていくはずである。地域共働本部との連携で、保護者が学校の活動に参加する機会が増えた。さらに来年度は、より多くの地域の方々に、参加していただけるよう、地域の人材を生かせる場面を見出し、計画的に取り組んでいく。 ・地域の自然・社会・文化を対象にした学習を展開し、地域のよさの発見と地域を愛する子の育成をめざす。 ・地域の人から学ぶことを通して、学習の理解を深めるとともに、地域の人たちへの愛着をもつ子どもの育成をめざす。 ・地域との連携を深め、地域の教育力を活用した教育活動の推進を図る。	(その他)は分野を右欄に記入		
活動内容・計画	○活動内容 (1) 地域の自然、社会、文化、人材を活用した授業の展開と授業交流 ・農業（稲作）や戦争体験、昔遊び、地域の人々から「生き方」を学ぶ、その他 (2) 地域の協力者の人材バンクの拡大と蓄積（地域学校共働本部との連携） ・生活科、社会科、総合的な学習 ・読み語りや図書館整備 ・その他 ○活動計画 ① 4月～3月 読み語り活動や図書館整備のボランティア活動、その他のボランティア活動の推進 ② 4月～2月 地域の自然、社会、文化、人々を活用した授業展開 ③ 3月 感謝する会 年間の活動のまとめと反省、次年度に向けての検討			
補助員配置	心の相談員 校内整備員			
実績・期待される効果	地域の自然、社会、文化、人々を活用した事業の展開により地域に慣れ親しむことで、地域の方々から「あいさつをする子どもが増えた」「地域の行事に参加する子どもが増えた」との声を聞いている。また、地域ボランティアによる図書館の整備、読み語りなどにより、子どもたちの読書量も増加している。今後も特色ある学校づくり推進事業で、次のような効果が期待できる。 ・朝の読書タイムの読み語りや地域ボランティアによる図書館の環境整備・工夫により、児童の読書に対する意欲が一層高まる期待できる。 ・1年昔遊びでは地域の老人の方々との心の交流が期待できる。 ・2・4年は、公園や地域の施設（公民館や神社、消防施設など）の見学により、地域についての関心を高める場となる。 ・5年生の農協職員による米作り体験によって、地域の自然や食育、地域の人や物とふれることができる貴重な実体験の場となる。 ・3年障がいをもつ方々の話を聞くことで、地域に住んでいる様々な方への理解を深めることができる。 ・6年戦争を体験した方の話を聞くことで、地域の歴史への理解を深めることができる。 ・お世話になった方への感謝の気持ちを伝えることができる。（感謝の会）			
検証方法	・総合的な活動の子どもたちのまとめや感想、読み語り、図書館利用の感想等により子どもたちの変容をつかむ。 ・特色ある学校づくり推進事業による子どもたちの変容の保護者のどうえを保護者アンケートや保護者の聞き取りによりつかむ。 ・地域での子どもたちの活躍の変化を自治区の役員などからの聞き取りによりつかむ。			